

ハイバック洗面化粧台 施工要領書

SIERRA/DH

この度は、本洗面化粧台をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
この洗面化粧台は一般家庭用の製品ですので、業務用には使用しないでください。

・施工要領書必読のお願い

作業者の安全と使用者の安全確保のため、本説明書をよくお読みになり、安全で正しい取り付けを行ってください。
組み込み機器および水栓金具についてはそれぞれの取付説明書にしたがって正しい取り付けを行ってください。

・取り付け完了後、最終ページの点検のお願い

取り付け完了後点検表に従って試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。

※本説明書と異なる取り付けは行わないでください。

間違った取り付けは思わぬ事故や故障の原因になります。

本説明書どおりの取り付けがなされていない場合の事故については責任を負いかねますのでご了承ください。

また説明書と異なる取り付けで発生した製品の不具合についての返品・取替えはご容赦ください。

開梱時において、万一梱包や製品に傷等がある場合は、取り付け前に、ご購入先までご連絡をお願いいたします。

取り付け後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

■ 1. 安全上のご注意	2	カウンター用 L 金具の取り付け	12
■ 2. 取り付け前の確認	3	排水金具の取り付け	12
■ 3. 取り付け手順	5	カウンターの取り付け	16
■ 4. 取り付け寸法図	6	排水トラップの取り付け	16
■ 5. 必要なもの	7	カウンターコーキング	20
■ 6. 引き出しの外し方／付け方	7	■ 8. 調整方法	20
■ 7. 取り付け方法		■ 9. 取り付け後の確認事項	21
キャビネット取り付け前の準備	8	■ 10. 清掃と養生	21
ミラーキャビネットの取り付け	10		
ベースキャビネットの取り付け	11		
サイドキャビネットの取り付け	11		
幕板の取り付け	11		

吉本産業株式会社



1 安全上のご注意

- 取り付け前に、『この安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しく取り付けしてください。



警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を次の記号で区分し説明しています。



この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。



この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、取り付け完了後お客様にお渡しください。



警告



組み込まれる機器、水栓金具等についてはそれぞれの説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく取り付けてください。機器類の取り付けに専用金物等が必要な場合があります。取り付けを誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

管工事

電気工事

組み込み機器類



キャビネット類の取り付けは壁の構造を確認して、本説明書どおり正しく行ってください。取り付けを誤ると落下して怪我をするおそれがあります。

大工工事(取付下地)



電気工事・水道工事は関連する法令・規定に従って、必ず『有資格者』が行ってください。接続や固定が不完全な場合は、火災、感電、水漏れの原因になることがあります。

管工事

電気工事



注意



取り付け完了後は、扉の傾き、ガタつき、金物の緩みがないことを必ず確認してください。扉の取り付けに異常があると使用中に落下して怪我をするおそれがあります。



金属配管は無理にU字に曲げたり折り曲げて取り付けしないでください。詰まって排水の流れが悪くなる原因になります。

管工事



建築側排水(VP管)は必ず指定の取り出し寸法で取り出してください。取り出し寸法が短いと排水トラップと接続できず、漏水を起こすおそれがあります。

管工事



工事に使われる溶剤・洗剤・接着剤その他の薬品類は、それぞれの注意表示に従って正しくお使いください。誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

洗剤類



取り付け下地材は堅木で、虫食いやささくれのない木材を使用してください。下地が不十分な場合、製品が落下や転倒し、けがをするおそれがあります。

大工工事(取付下地)

2 取り付け前の確認

洗面化粧台の取り付けにあたっては、必ず建築基準法や消防法などの法律に従って正しく進めてください。また地域の条例も必ず遵守してください。

①入荷チェック

届いた商品について、破損がないか、品番、個数を確認してください。間違いがあった場合は至急納品元にご連絡ください。

②開梱

各部材を開梱し、同梱の部品・部材や説明書・保証書等はないかならないように、わかる場所においてください。各部材は傷がつかないように保護し作業がしやすいように保管しておいてください。開梱時において、万一梱包や製品に傷等がある場合は取り付け前に購入先までご連絡をお願いいたします。取り付け完了後のお申し出に対しては、当社としては責任をおいかねますのでご了承をお願いいたします。

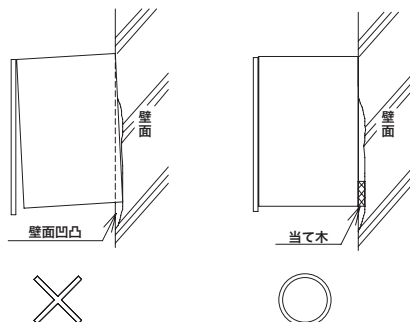
③現場のチェック

図面通り現場ができていないか、必ず確認してください。

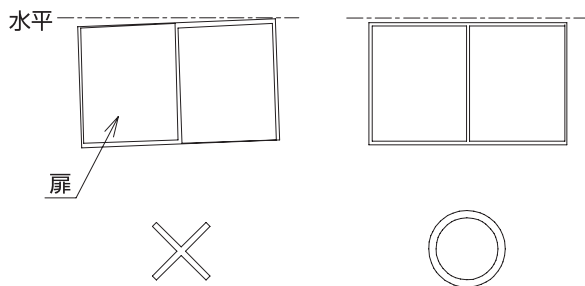
1. 搬入路および、作業スペース
2. 壁、床、天井の仕上げおよび寸法。直角・水平・垂直
3. 窓の仕上がり寸法
4. 出窓枠、ドア枠位置、窓の高さ
5. キャビネットの取り付け位置
6. 排水位置
7. 電気配線位置
8. 給水・給湯位置

壁面の確認

■ 壁面は必ず平らにしてください。万一、壁面に凹凸がある場合は、下図のように修正してください。キャビネットを取り付ける壁面に凹凸があると、扉に段差が生じます。



■ キャビネットは水平・垂直に取り付けてください。水平・垂直でないと扉に段差が生じます。



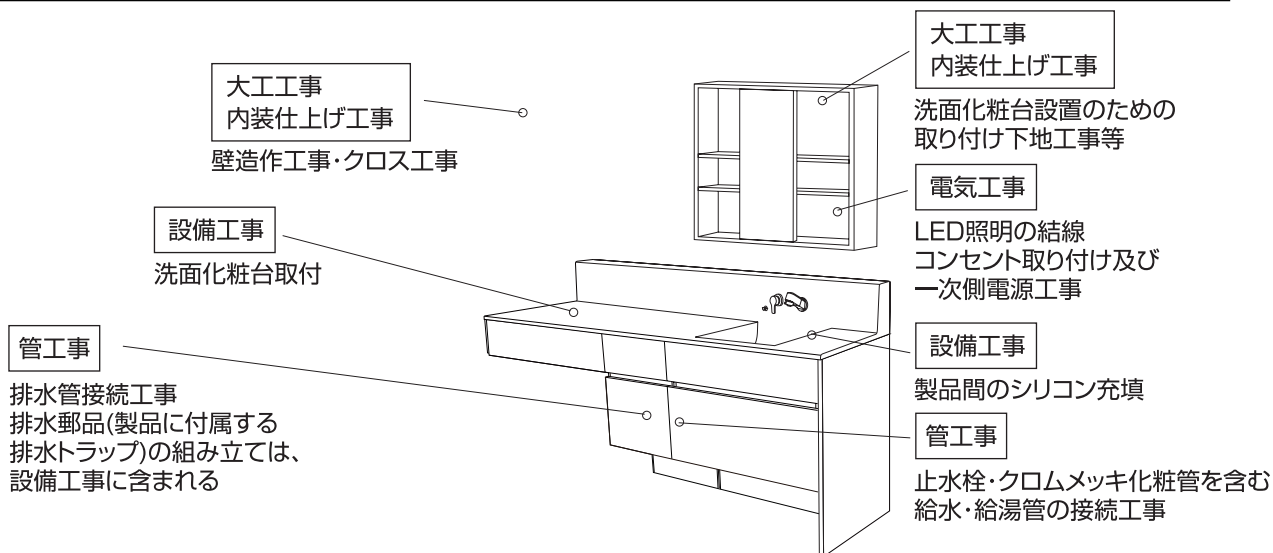
警告



キャビネットを壁に固定する場合は、壁の構造を確認して、本説明書どおりに正しく行ってください。取り付けを誤ると落下して重大な事故が発生する恐れがあります。

大工工事（取付下地）

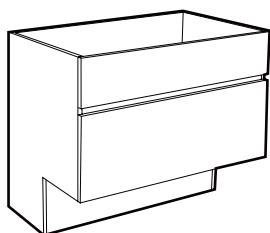
洗面取付・設置



2 取り付け前の確認

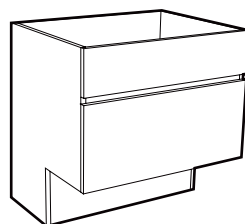
同梱物の確認

■ベースキャビネット W900



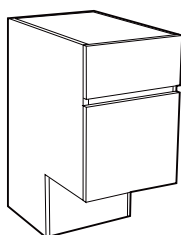
壁固定用ビス M5.3×60 4本
連結用ビス M4×28 4本
カウンター用L金具 (ビス付) 4個

■ベースキャビネット W750



壁固定用ビス M5.3×60 4本
連結用ビス M4×28 4本
カウンター用L金具 (ビス付) 4個

■サイドキャビネット W300



壁固定用ビス M5.3×60 4本
連結用ビス M4×28 4本
カウンター用L金具 (ビス付) 2個

■幕板 W900



壁固定用ビス M5.3×60 4本
連結用ビス M4×28 4本
カウンター用L金具 (ビス付) 2個
フィラー固定用L金具 (ビス付) 2個
木口テープ (木目柄)

■サイドパネル



木口テープ (木目柄)

■フィラー H780

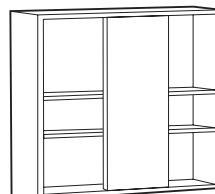


木口テープ (ホワイト)

■フィラー H175



■ミラーキャビネット



皿ビス M4×75 4本
ワッシャーΦ5 4個
キャップ 4個

3 取り付け手順

※取付作業は必ず2名以上で行ってください。

取り付ける部材の基本的な流れを確認してください。

取り付ける機器類については、必ず同梱の取付説明書あるいは
据え付け説明書に従って正しく取り付けてください。

洗面化粧台取り付け手順

1. 現場確認

- ① **製品の確認** ●同梱部材の確認 ●カウンターの左右仕様確認
- ② **現場の確認** ●引き出し、扉の左右仕様確認 ●配管・配線、排水管と排水口の位置確認
●窓枠、ドア枠などの開口枠の位置確認
- ③ **現場床面、壁面の水平/垂直/直角度の確認および修正**

2. キャビネット取り付け

- ① **ミラーキャビネットの取り付け** ●ミラーキャビネットの取り付け
を最初に行ってください。
- ② **ベースキャビネットの取り付け**
- ③ **サイドキャビネット/ 幕板の取り付け**

3. カウンター / 排水の取り付け

- ① **排水金具の取り付け**
- ④ **排水トラップの取り付け**
- ② **水栓金具の取り付け**
- ⑤ **カウンターコーキング**
- ③ **カウンターの取り付け**

4. 点検・清掃

扉の調整・各部の点検・清掃と養生

下記代表図を参照し、給水・給湯・排水の工事をしておいください。
詳細図は別途プラン図を参照してください。

Technical drawing of a bathroom vanity unit, showing front and side elevations with dimensions and component labels.

Front Elevation (Top):

- Overall width: W 1680
- Left section width: L 480
- Right section width: R 1200
- Overall depth: D 600
- Inset cabinet width: 500
- Labels: 壁 (Wall)

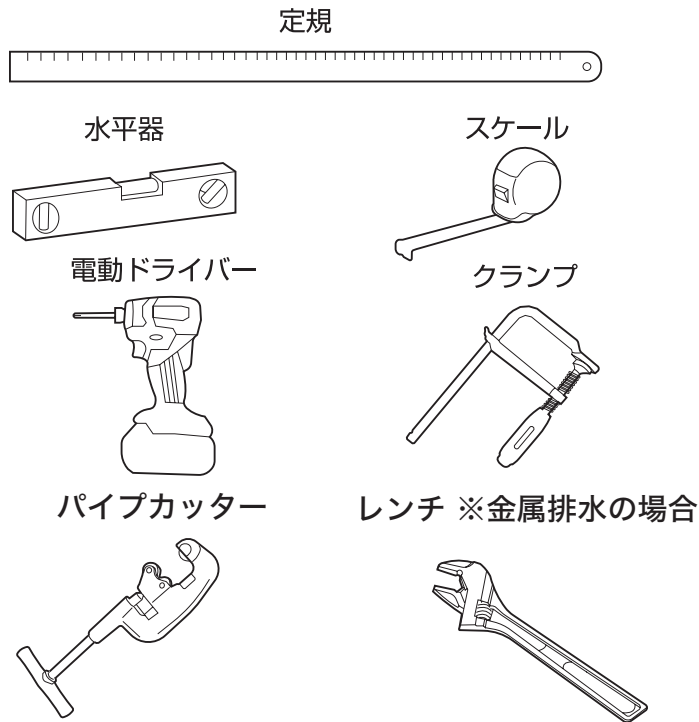
Side Elevation (Bottom):

- Inset cabinet width: W 900
- Overall width: W 1680
- Overall depth: 605
- Inset cabinet depth: 175
- Labels: 壁 (Wall), 1) 洗面ボウル 一体型カウンター (Integrated sink counter), 4) スライドミラーキャビネット (Slide mirror cabinet), 5) W750, 7) W300, 8) W600, 10) 15

6

5 必要なもの

必要なもの



あると便利なもの

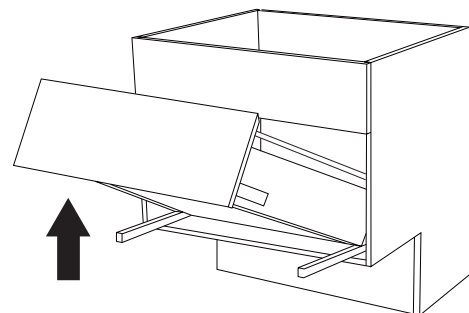


6 引き出しの外し方/ 付け方

<外し方>

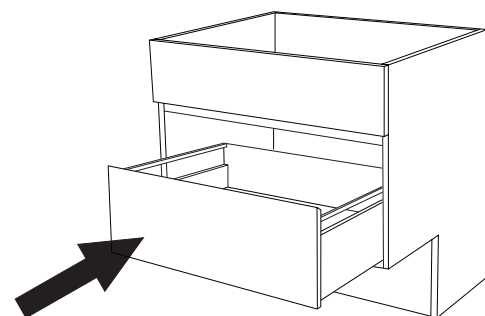
引き出しを最大まで引き出した後、
引き出し前方を持ち上げながら手前に引い
てレールから取り外してください。

※キャビネットの設置作業を行う際は必ず
引き出しを取り外した状態で、作業を行っ
てください。



<付け方>

引き出しをスライドレールに載せ、奥まで
押し込んで取り付けてください。
取り付け後、引き出しを開閉し、スムーズ
に動作することを確認してください。



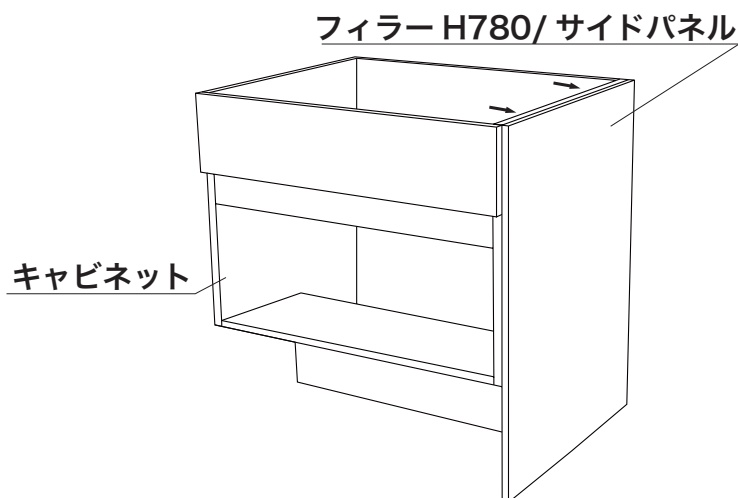
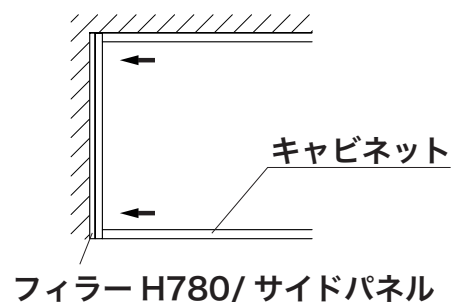
7 取り付け方法

※各部材の取付位置はプラン図を参照してください。

キャビネット取り付け前の準備

〈ベースキャビネット / サイドキャビネット+フィラー H780/ サイドパネル〉

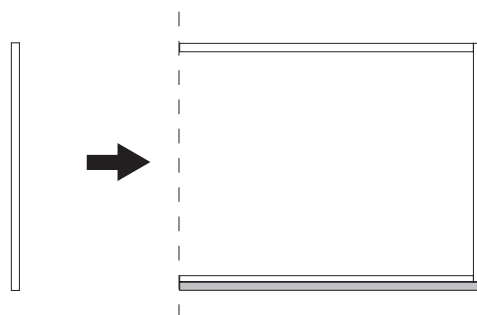
プラン図で取り付け位置を確認し、
キャビネットの内側から固定します。



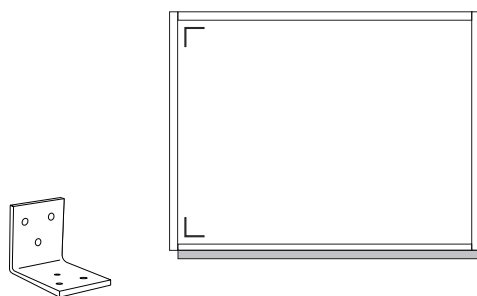
〈幕板+フィラー H175〉※プラン図に記載の寸法はフィラーを含めた間口寸法です。

間口調整のために幕板をカットして
使用する際は、プラン図に記載の寸法に
合わせ、幕板をカットし、フィラー H175
を取り付けてください。

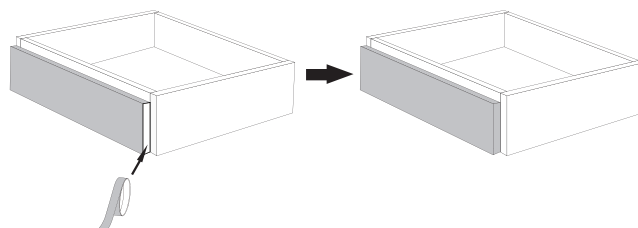
※幕板をカットする際はプラン図を確認し、
キャビネットと隣接しない側をカット
してください。



フィラーの固定には、同梱のL金具を使用し、
しっかりと固定してください。



カットした幕板の木口に同梱の木口テープ
を貼り付けてください。



必要なもの・
引き出しの付け外し

取り付け前の準備

取り付け方法

ミラーキャビネット・
キャビネット・幕板
排水金具・カウンター
排水トラップ

調整方法

取り付け後の確認
清掃と養生

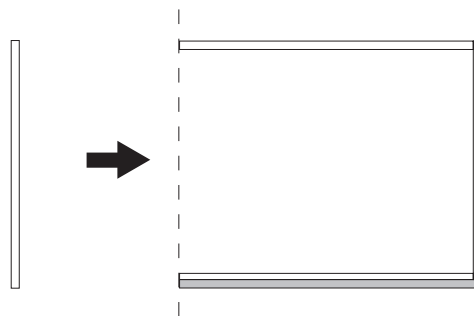
7 取り付け方法

※各部材の取付位置はプラン図を参照してください。

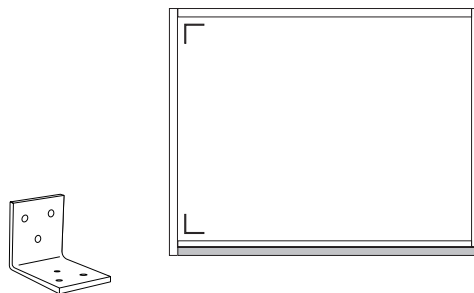
〈幕板+サイドパネル〉※ P.6 プラン図に記載の寸法はフィラーを含めた間口寸法です。

幕板をカットして使用する際は、プラン図に記載の寸法に合わせ、幕板をカットし、サイドパネルを取り付けてください。

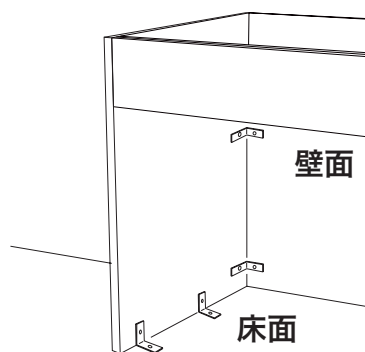
※幕板をカットする際はプラン図を確認し、キャビネットと隣接しない側をカットしてください。



サイドパネルの固定には、同梱の L 金具を使用し、しっかりと固定してください。



幕板側がオープンとなる場合は、サイドパネルを床面に2箇所、壁面に2箇所、同梱の L 金具を使用して確実に固定してください。



7 取り付け方法

※各部材の取付位置はプラン図を参照してください。

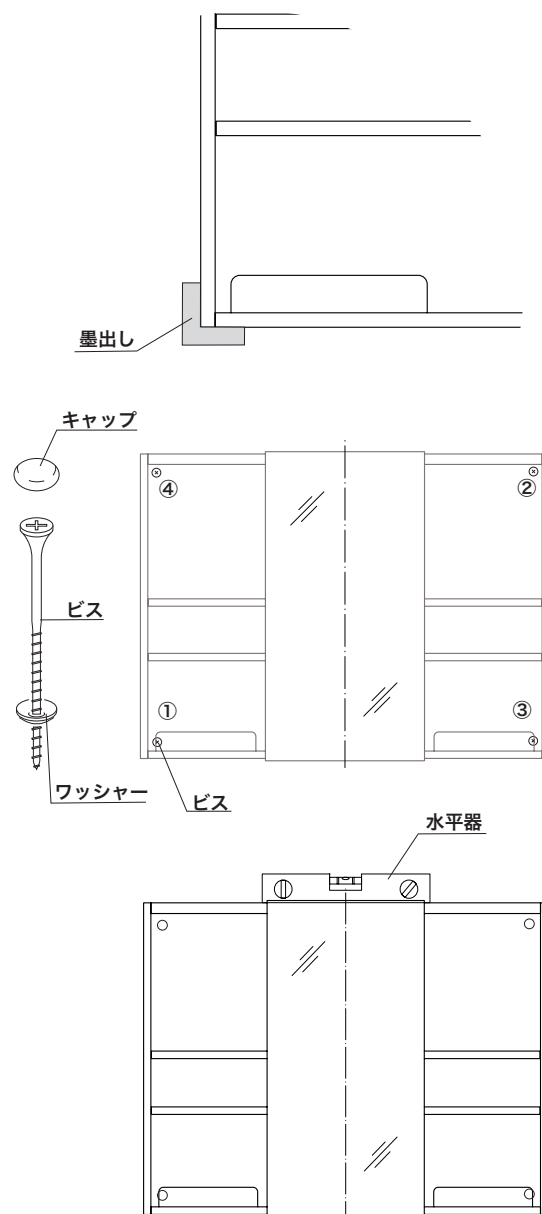
ミラーキャビネットの取り付け

1. プラン図に従い、ミラーキャビネット設置位置の下側両端 2 箇所に墨出しを行ってください。

⚠ 仕上げ面に墨出し跡が残らないよう注意して行ってください。

2. ミラーキャビネットを墨出し位置に合わせ、ビス 4 箇所で固定してください。この際、ビスは対角線上の位置を順に固定してください。固定後、キャップを取り付けてください。

3. 水平器を用いて、ミラーキャビネットが水平に取り付けられていることを確認してください。

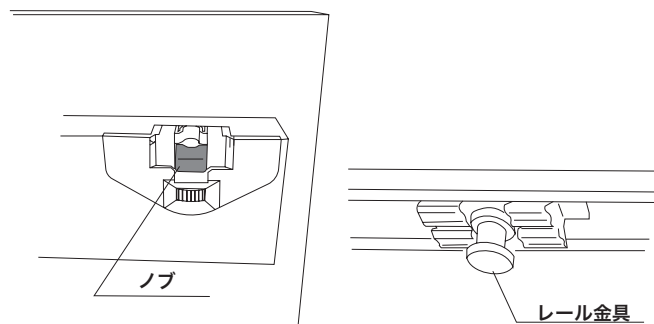


＜ミラーの取り外し方＞

ミラー裏側のノブを下に引きながら、ミラーを手前に引いてレール金具から取り外してください。

＜ミラーの取り付け方＞

ミラー裏側のノブを下に引きながら、ミラーをレール金具に掛けてください。所定の位置に合わせた後、ノブを戻して固定してください。



※施工内容に応じて、必要な場合のみミラーの取り外し・取り付けを行ってください。

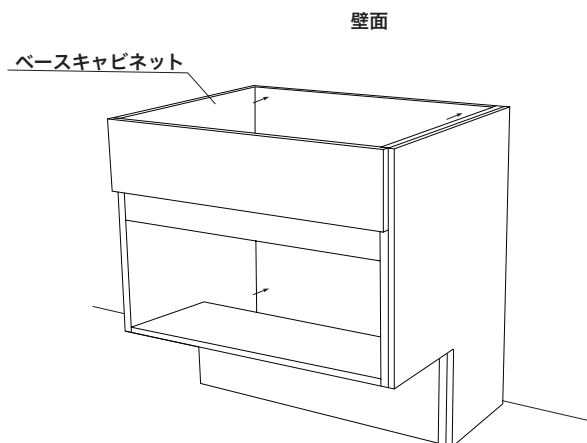
7 取り付け方法

※各部材の取付位置はプラン図を参照してください。

ベースキャビネットの取り付け

フィラー / サイドパネルが必要な場合にはそれらを取り付けていることを必ず確認してください。

プラン図に従いベースキャビネットを所定の位置に設置し、水平を確認したうえで壁面へ4箇所ビスで固定してください。

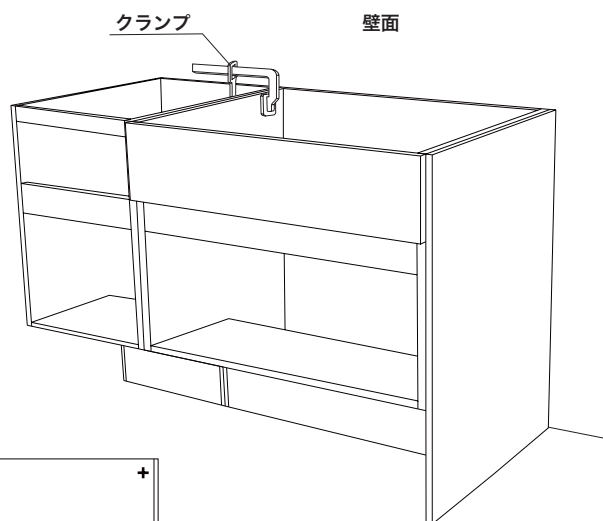


サイドキャビネットの取り付け

プラン図に従いサイドキャビネットを所定の位置に設置し、水平を確認してください。ベースキャビネットとの隙間がなくなるようクランプで固定した後、ベースキャビネット側から固定してください。

連結後、壁面へビスで固定してください。

⚠ 隙間が生じていないことを必ず確認してから固定してください。



固定は、図中の印位置を参考にビスで固定してください。

幕板の取り付け

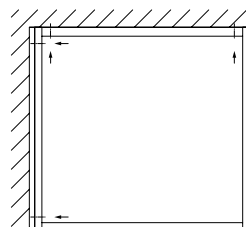
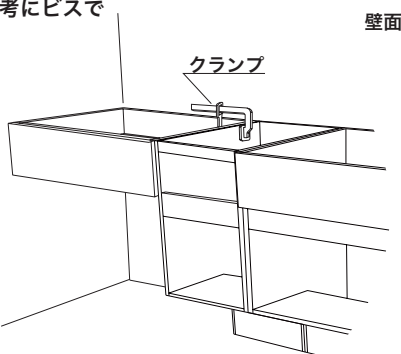
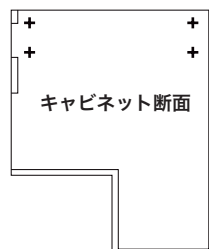
プラン図に記載された寸法に加工した幕板を、プラン図に従い所定の位置へ設置し、水平を確認してください。

ベースキャビネットまたはサイドキャビネットとの隙間がなくなるようクランプで固定した後、キャビネット側からビスで固定してください。

連結後、壁面へビス固定してください。

※幕板の加工については、P.8 をご参照ください

固定は、図中の印位置を参考にビスで固定してください。



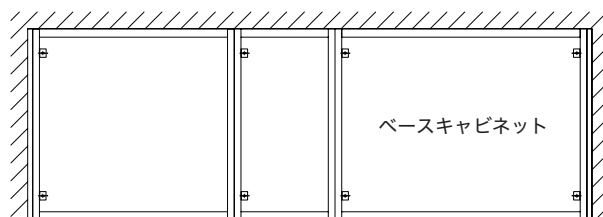
幕板の壁面に接する部分は、壁面に向けてビスで固定してください。

7 取り付け方法

カウンター固定用L金具の取り付け

L金具は、ベースキャビネットに4箇所、
その他のキャビネットには各2箇所
取り付けてください。

取り付けの際は、カウンター両端部に必ず
L金具が配置されるようにし、図示位置を
参考に壁面へ固定してください。



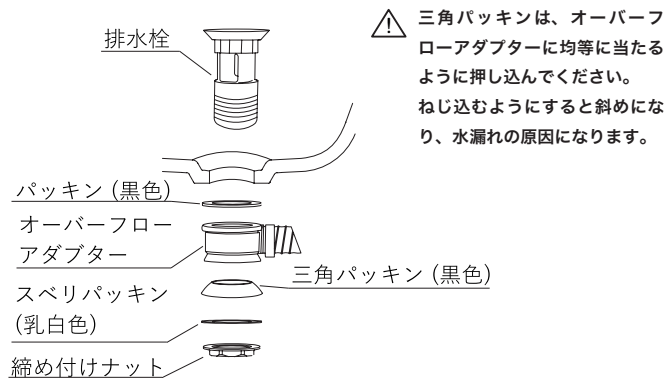
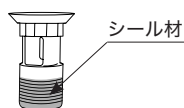
※ボウルの偏心によりベースキャビネットのL金具を4箇所
取り付けできない場合は、L金具2箇所固定してください。

樹脂排水金具の取り付け

排水栓の取り付け

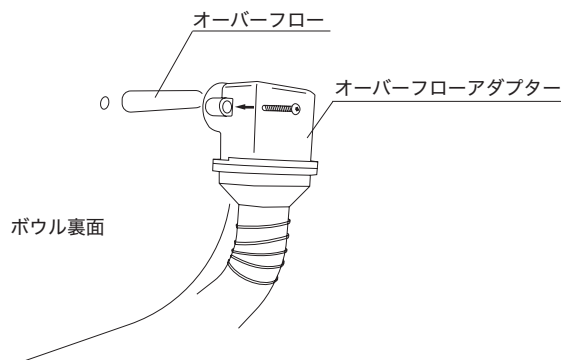
洗面ボウル上面から排水栓を挿入し、下面側から
パッキン、オーバーフローアダプター、三角パッキン、
スベリパッキン、締め付ケナットの順に取り付け、締め付
ケナットを回して仮固定してください。

⚠ 必ずシール材を塗布してください。
ねじ山に水がついたり、
漏水の原因になります。



オーバーフローアダプターの取り付け

オーバーフローとオーバーフローアダプターの位置を
合わせ、固定ビスを締め付けて固定してください。
オーバーフローとオーバーフローアダプターが確実に
固定されていることを確認してください。

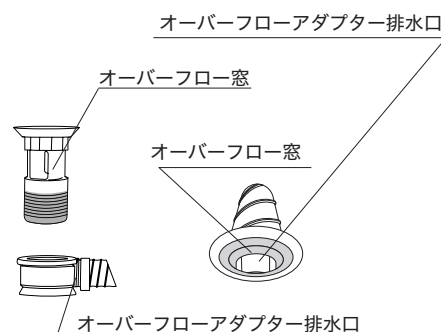


オーバーフローアダプターの調整

排水栓のオーバーフロー窓と
オーバーフローアダプターの向きを合わせて固定してくださ
い。

※オーバーフローエルボ管が垂直で無い場合や、フレキ管に
たわみがある場合、水が溜まりやすくなり、異臭の原因になります。

⚠ 方向に注意して取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、水漏れをして家財などを濡らしてしまうお
それがあります。



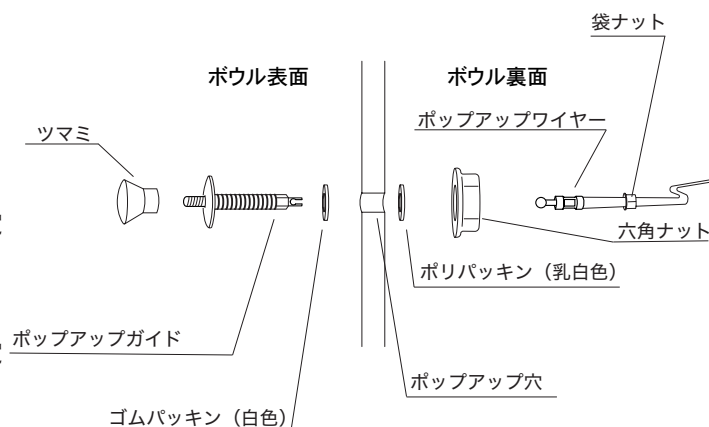
7 取り付け方法

樹脂排水金具の取り付け

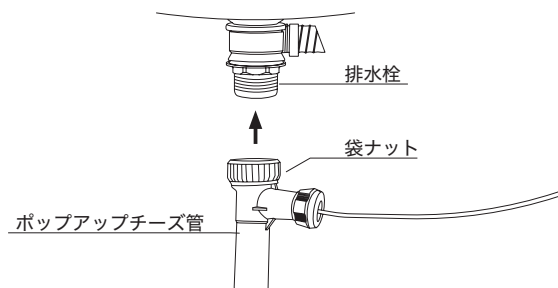
ポップアップの取り付け

ポップアップガイドにパッキンを取り付け、洗面ボウルの取付穴に入れ、洗面ボウル裏面側からパッキン、六角ナットを取り付け、締め付けて固定してください。

裏面からポップアップガイドのくぼみにポップアップワイヤーをひっかけ、袋ナットで固定してください。



排水栓にシールテープを4～5重巻きつけて、ポップアップチーズ管を取り付けてください。



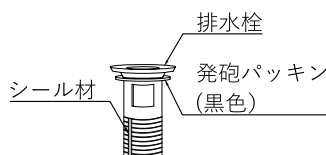
※排水金具の取り付けが完了後、同梱の施工説明書に従って水栓金具を取り付けてください

7 取り付け方法

金属排水金具の取り付け

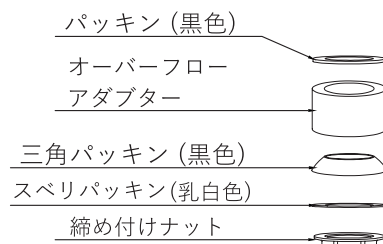
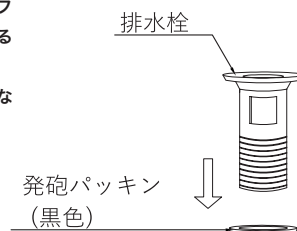
排水栓の取り付け

洗面ボウル上面から排水栓に発砲パッキンを通し、下面側からパッキン、オーバーフローアダプター、三角パッキン、スベリパッキン、締付ナットの順に取り付け、締付ナットを回して仮固定してください。



⚠ 必ずシール材を塗布してください。
ねじ山に水がついたり、
漏水の原因になります。

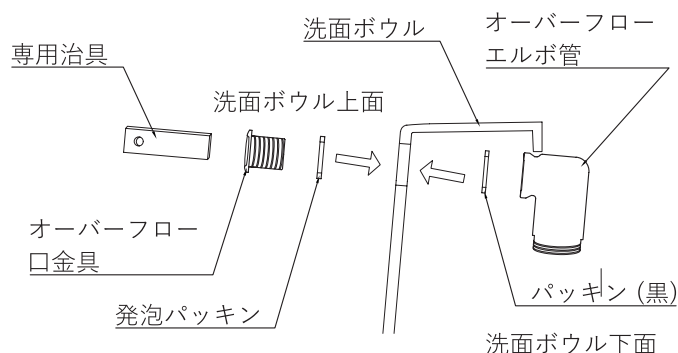
⚠ 三角パッキンは、オーバーフローアダプターに均等に当たるように押し込んでください。
ねじ込むようにすると斜めになり、水漏れの原因になります。



オーバーフローアダプターの取り付け

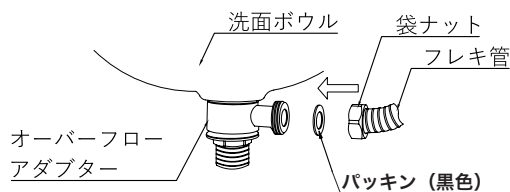
専用治具を使用して、洗面ボウルにオーバーフロー口金具とオーバーフローエルボ管を仮固定してください。

※専用治具の丸穴にドライバー等を差し込んで回すと締めやすくなります。



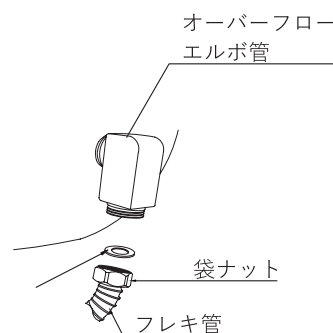
フレキ管の取り付け

オーバーフローアダプターにフレキ管を袋ナットで締め付けてください



オーバーフローエルボ管にフレキ管を袋ナットで締め付けてください。

※フレキ管の接続部に負荷がかからないように
オーバーフローエルボ管を斜めにする等の調整を
行い、フレキ管を袋ナットで締め付けてください。



7 取り付け方法

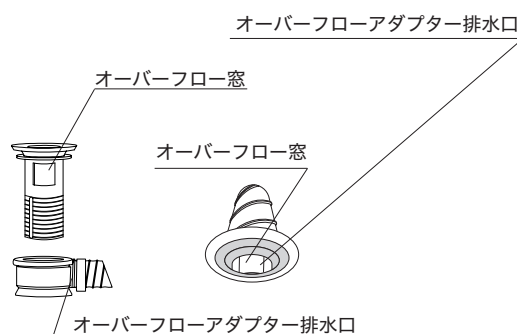
金属排水金具の取り付け

オーバーフローアダプターの調整

排水栓のオーバーフロー窓とオーバーフローアダプターの向きを合わせて固定してください。

⚠ 方向に注意して取り付けてください。

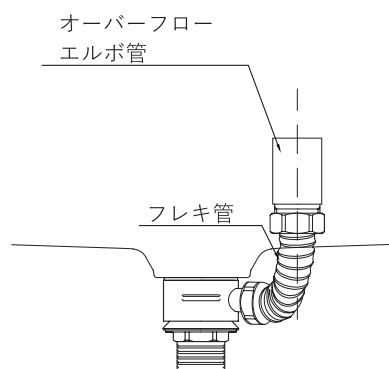
取り付けが不十分な場合、水漏れをして家財などを濡らしてしまうおそれがあります。



オーバーフローフレキ管、オーバーフローアダプターの根元を持ちオーバーフローエルボ管が垂直になるように調整してください。

調整後、排水栓およびオーバーフローアダプターを本締めしてください。

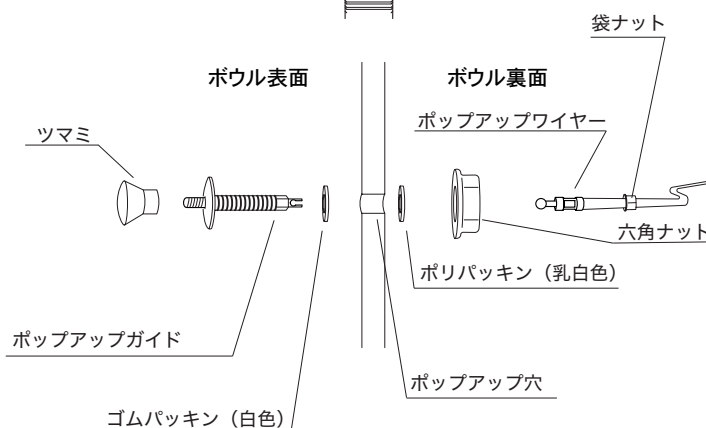
※オーバーフローエルボ管が垂直で無い場合や、フレキ管にたわみがある場合、水が溜まりやすくなり、異臭の原因となります。



ポップアップの取り付け

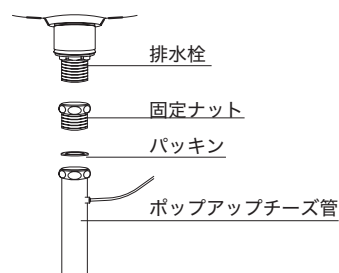
ポップアップガイドにゴムパッキンを取り付け、洗面ボウルの取付穴に入れ、洗面ボウル裏面側からポリパッキン、六角ナットを取り付け、締め付けて固定してください。

裏面からポップアップガイドの窪みにポップアップワイヤーをひっかけ、袋ナットで固定してください。



ポップアップチーズ管の取り付け

排水栓に固定ナット、パッキン、ポップアップチーズ管の順に取り付けてください。



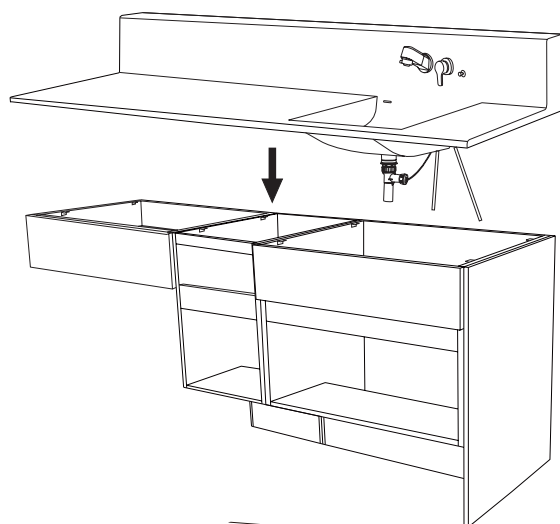
※排水金具の取り付けが完了後、同梱の施工説明書に従って水栓金具を取り付けてください

7 取り付け方法

カウンターの取り付け

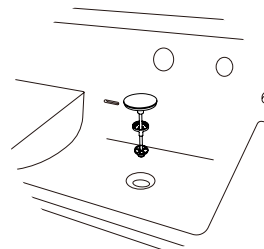
排水金具および水栓金具を取り付けたカウンターをキャビネットの上に設置してください。

位置を調整し、キャビネットとの隙間がないことを確認した後、キャビネット内側からビスで固定してください。



ケレップの取り付け

洗面ボウルの排水栓にケレップを入れてください。



樹脂排水トラップの取り付け

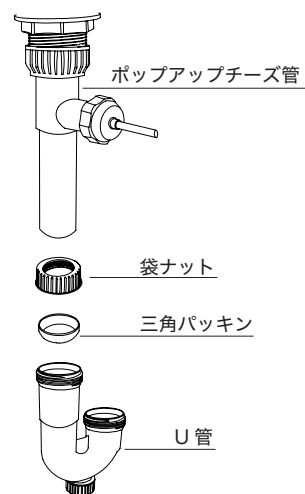
〈床・壁兼用〉

※ 以下の工事は必ず水道工事業者様にご依頼ください。
(あらかじめ水道工事業者様と打ち合わせを行ってください)

U 管の取り付け

●ポップアップ管に袋ナット、三角パッキンの順に通してください。

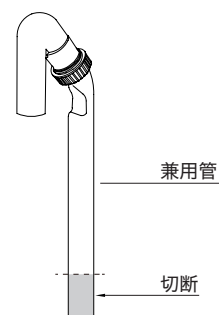
U 管がポップアップチーズ管に当たるまで差し込み、袋ナットを手でしっかりと締め付けてください。



兼用管の切断

●必要な長さにパイプカッターで切断してください。

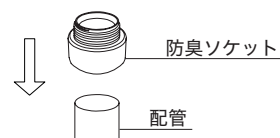
⚠ パイプカッターは管に対して直角に当て、少しずつ締め込みながら切断してください。
切断後は必ずバリを除去し、切断面に変形や傷がないことを確認してください。



防臭ソケットの取り付け

●防臭ソケットに接着剤を塗り、躯体側の配管に差し込んでください。

⚠ 防臭ソケットは、塩ビ管 40A の適合品となります。それ以外の配管の場合は水道工事業者様、打ち合わせの上ご準備ください。

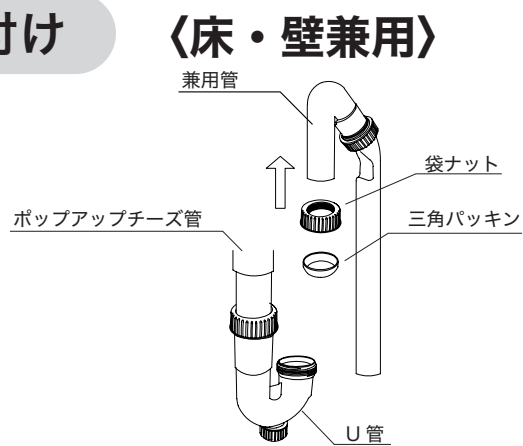


7 取り付け方法

樹脂排水トラップの取り付け

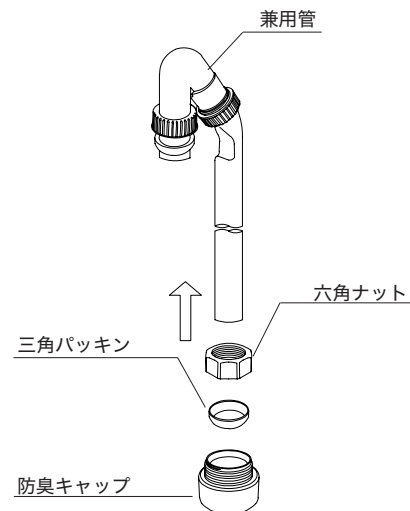
U 管部品の取り付け

- U 管に取り付けされている、袋ナット、三角パッキンを兼用管に通してください。



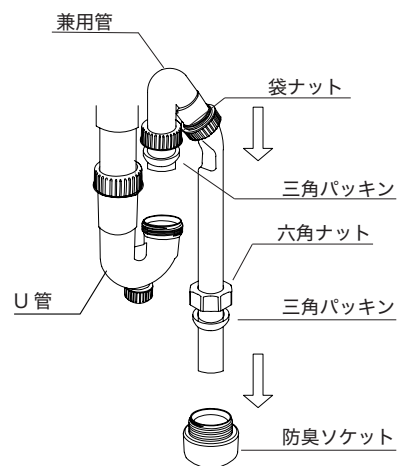
防臭ソケット部品の取り付け

- 防臭ソケットに取り付けられている六角ナット、三角パッキンを兼用管に通してください。



兼用管の取り付け

- U 管に兼用管を取り付けてください。兼用管が U 管に当たるところまで差し込み袋ナットは、手でしっかりと締め付けてください。
- 防臭ソケットの六角ナットを手でしっかりと締め付けてください。

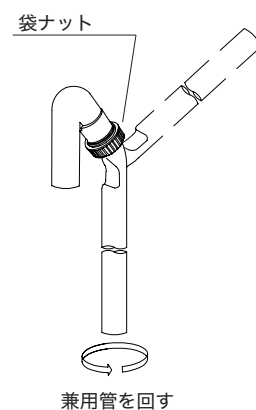


⚠ 三角パッキンは、U 管、防臭キャップに均等に当たるように押し込んでください。ねじ込むようにすると、斜めになり、水漏れの原因になります。

※兼用管を壁排水として使用する方法

- ① 袋ナットを緩めてください
- ② 兼用管を回してください。
壁排水の仕様になります。
- ③ 袋ナットを手でしっかりと締め付けてください。

⚠ 三角パッキンは、兼用管に均等に当たるように押し込んでください。ねじ込むようにすると、斜めになり、水漏れの原因になります。



7 取り付け方法

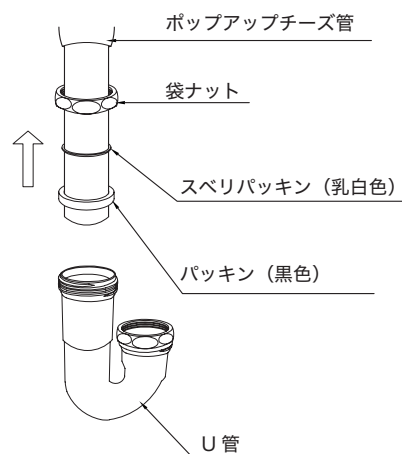
金属排水トラップの取り付け

〈床排水の場合〉

※ 以下の工事は必ず水道工事業者様にご依頼ください。
(あらかじめ水道工事業者様と打ち合わせを行ってください)

U 管の取り付け

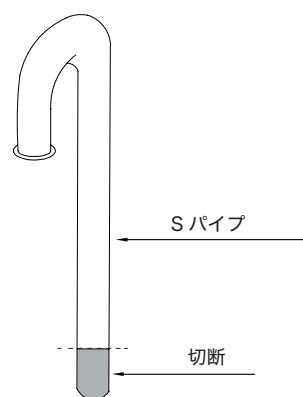
●ポップアップ管に袋ナット、スベリパッキン、
パッキンの順に通してください。
U 管がポップアップチーズ管に当たるまで差し込み、
パイプレンチを使用して袋ナットを締め付けてくだ
さい。



S パイプの切断

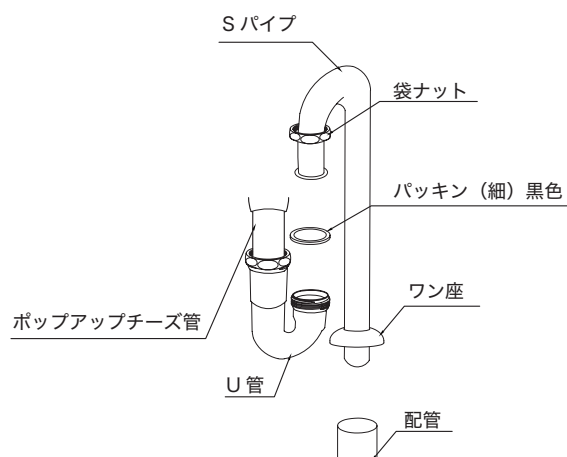
必要な長さにパイプカッターで切断してください。

⚠ パイプカッターは管に対して直角に当て、少しずつ締め込みながら
切断してください。
切断後は必ずバリを除去し、切断面に変形や傷がないことを
確認してください。



S パイプの取り付け

U 管に取り付けがされている袋ナットを S パイプに
通してください。
ワン座を S パイプに通してください。
パイプレンチを使用して S パイプを袋ナットで締
め付けてください。



⚠ 防臭キャップは付属しておりません。

予め水道工事業者様とご相談のうえ、ご用意ください。

防臭キャップを取り付けていない場合は、配管との間に隙間が生じ、
異臭や湿気が漏れる原因となります

7 取り付け方法

金属排水トラップの取り付け

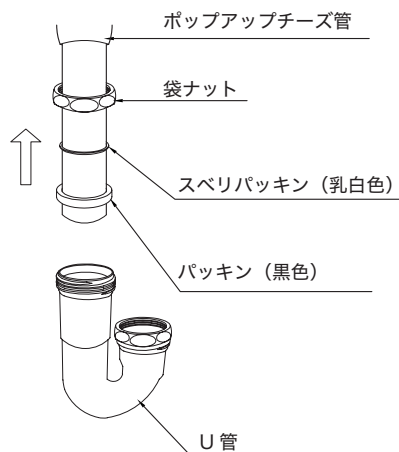
〈壁排水の場合〉

※ 以下の工事は必ず水道工事業者様にご依頼ください。
(あらかじめ水道工事業者様と打ち合わせを行ってください)

U 管の取り付け

●ポップアップ管に袋ナット、スベリパッキン、パッキンの順に通してください。

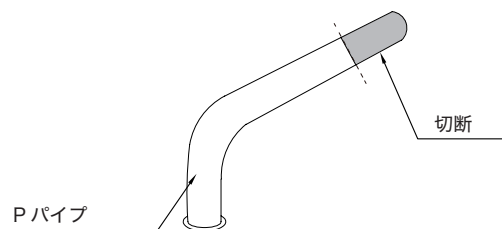
U 管がポップアップチーズ管に当たるまで差し込み、パイプレンチを使用して袋ナットを締め付けてください。



P パイプの切断

必要な長さにパイプカッターで切断してください。

⚠ パイプカッターは管に対して直角に当て、少しずつ締め込みながら切断してください。
切断後は必ずバリを除去し、切断面に变形や傷がないことを確認してください。

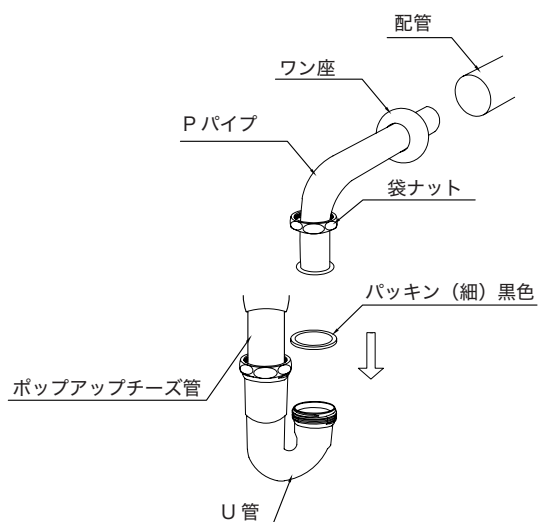


P パイプの取り付け

U 管に取り付けがされている袋ナットを P パイプに通してください。

ワン座を P パイプに通してください。

パイプレンチを使用して P パイプを袋ナットで締め付けてください。



⚠ 防臭キャップは付属していません。

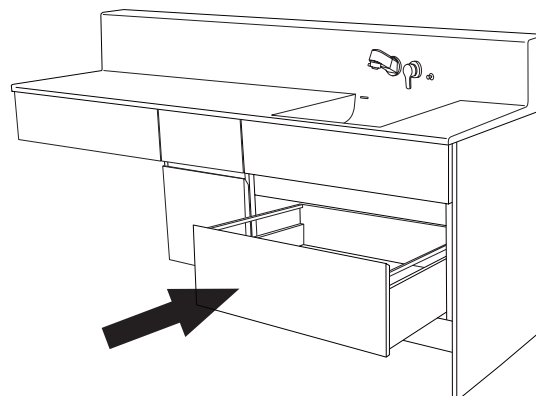
予め水道工事業者様とご相談のうえ、ご用意ください。

防臭キャップを取り付けていない場合は、配管との間に隙間が生じ、異臭や湿気が漏れる原因となります。

7 取り付け方法

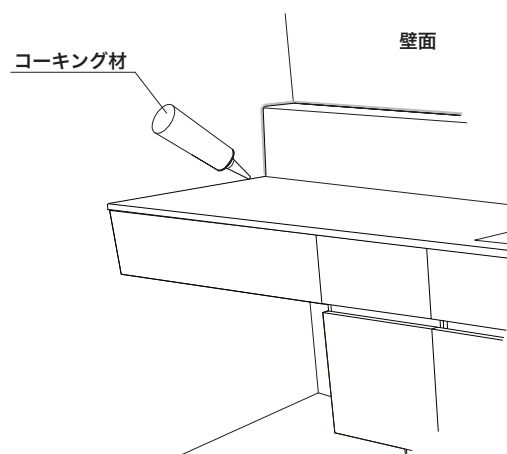
排水金具の取り付け後、引き出しをキャビネットへ取り付けてください。

引き出しの取り付け方法については、P.7を参照してください。



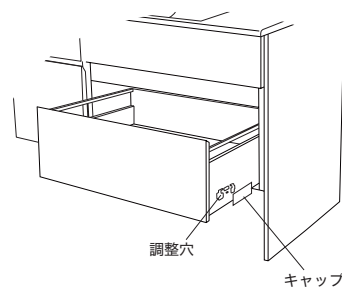
カウンターコーキング

壁面とカウンターが接する部分に、防カビタイプのコーキング材を塗布してください。



8 調整方法

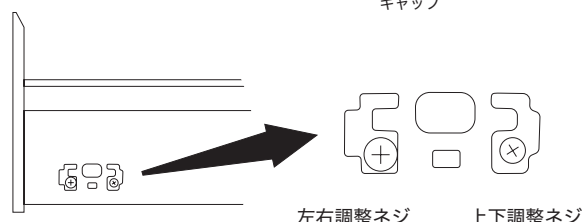
レールを取り付けた状態で、キャビネット側面のキャップを取り外してください。



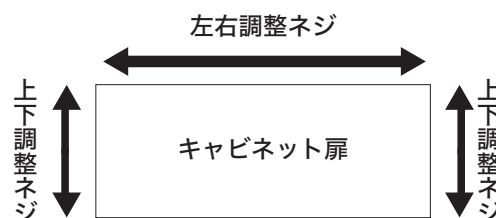
調整したい方向の調整ネジを回し、扉の位置を調整してください。

※上下調整ネジは、片側にのみまわります。

無理に反対に回すと、ねじ山が潰れるおそれがあるためご注意ください



左右調整ネジは、扉の左右位置を調整するためのネジです。
上下調整ネジは、扉の上下位置を調整するためのネジです。
左右・上下いずれの調整も、片側だけを大きく調整すると扉の傾きの原因となります。調整する際は、両側を同程度ずつ調整してください。



9 取り付け後の確認事項

取付後の点検

取付が終わったら、チェックリストに基づいて必ず再確認をおこなってください。

部 位	チェック項目		良・否
取付条件	1	図面どおりに取付されているか	
洗面化粧台	1	キャビネットは、全てしっかり連結されているか	
	2	引き出し、扉にガタつきがなく、金物が確実に取り付けられているか	
	3	扉、引出しのチリが適切で、段差がなく、開閉やスライドは良好か	
	4	コーキング処理は適切で、きれいに仕上がっているか	
ミラーキャビネット	1	ミラーキャビネットは、壁にしっかり固定されているか	
	2	ミラーキャビネットに、ゆがみやガタつきはないか	
	3	キャビネット固定用ビスに、化粧キャップは取り付けられているか	
給水、給湯、排水配管	1	排水トラップは、確実に締め付けられているか	
	2	下水管との接続に、防臭キャップもしくは、排水管アダプターを取り付けしたか	
	3	給水・給湯配管の接続は間違いないか	
	4	各配管接続部からの水漏れはないか	
水栓	1	吐水量は、止水栓で適切な量に調整されているか	
お客様への説明	1	正しく快適に使用してもらうため、説明したか	
その他	1	養生はしてあるか	
	2	汚れている箇所はないか	
	3	本体および機器の取扱説明書はあるか	
	4	施工要領書・取付説明書は必ずお客様にお渡しください	

10 清掃と養生

- 製品の清掃は、中性洗剤を含ませた布、またはスポンジで拭き取ってから水拭きしてください。
- 洗面ボウル・カウンター部分を、ビニール・段ボールにて養生して、その後の工事でキズが付かないようにしてください。

注意



シンナー・ベンジンなどの使用は表面を変色、変質させますので絶対に使用しないでください。